

【アンケートB】「国際バカロレア（IB）を活用した大学入学者選抜に関するアンケート調査」（オンラインアンケート）

ご担当の皆さまへ

本アンケートは、今後の日本における国際バカロレア（IB）およびIBを活用した入試の発展のために実施するものです。

ご回答いただいた内容は、今後のIBに関する施策や方針の検討にあたって活用させていただきます。ご多用の中大変恐れ入りますが、どうぞご協力お願い申し上げます。

・本調査結果は、文部科学省における今後のIB推進のための施策立案・改善等に活用させていただくとともに、IB推進のため、IB教育推進コンソーシアムのホームページ等へ掲載させていただく予定です。

・ご回答は統計的に処理し、学校名、所属、氏名等が特定できる形では公表いたしません。

・本調査についてご質問等ございましたら、事務連絡先までご連絡ください。

<事務連絡先>

〒179-0072 東京都練馬区光が丘7丁目5-1

文部科学省IB教育推進コンソーシアム事務局（アオバジャパン・インターナショナルスクール内）

事務局窓口：小澤大心・小野千晶

TEL：090-9701-8736 / FAX：03-6735-4092 / E-MAIL：consortium.info@aobajapan.jp

【導入の背景・目的について】

1. 貴学において国際バカロレア（IB）を活用した入試を導入された経緯・動機・目的についてお聞かせください。（自由記述）

2014年のSGU採択に伴い、国際化への取り組みとして実施

2. 導入にあたりどのような点が課題となりましたか？また、それらはどのように解決されましたか？（自由記述）

課題：①全学部での実施検討 ②試験科目

結果：入試を担当する部署が方針案を作成し、学内の入試検討会議の議題として審議

【入試の設計・現状について】

3. 入試内容の設計において、工夫した点・留意した点がありましたらお聞かせください。（自由記述）

全学部との調整

4. 貴学での国際バカロレア（IB）を活用した入試の現状について、上記1でお答えいただいた目的に対する成果と課題をお聞かせください。（自由記述）

国際化に対応する素地を持つ入学志願者を募ることを継続検討している

【今後の方向性について】

5. 貴学での国際バカロレア（IB）を活用した入試の今後の方向性についてお聞かせください。（一つを選択）

ア 全学部へ拡大する予定

イ 未導入の学部にも拡大する予定

ウ 募集人数を増やす予定

エ 現状維持

オ 見直し又は削減予定

カ その他（未定）

【IB生について】

6. IB生に対してどのような**期待**をお持ちですか？（複数選択可）

- ア 語学力
- イ 主体性・積極性・チャレンジ精神
- ウ 異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティ
- エ 課題発見・解決能力
- オ チームワーク・リーダーシップ
- カ その他（ ）

7. IB生に対して、どの程度の**英語運用能力**を期待しますか？（一つを選択）

- ア 専門的な分野においてほぼ全ての内容を理解でき、論理的かつ流暢に自己表現できる。
- イ 専門的な分野において概要や意図を理解し、言葉を効果的に用いて自己表現できる。
- ウ 専門的な分野において主要な内容を理解し、一般的なコミュニケーションは支障なく行える。
- エ 日常生活において一般的なコミュニケーションはある程度行える。
- オ 英語力は問わない。
- カ その他（ ） 学部学科によって英語能力の期待は異なる

8. 貴学においてIB生の学業上及びその他の活動への取組の様子や、周囲への**影響**について、どのようにお考えですか？（自由記述）

持前の語学力や国際感覚をさらに伸ばし、他の学生と切磋琢磨しながら本学国際化の担い手の一翼になることを期待する

9. IB生の**卒業後の進路**（就職先など）について、可能な限りご記載ください。

卒業年度	学部名	進路（就職先など）
入学者のサンプルが少なく、個人の特等につながる可能性もあり例示はいたしません		

※学生1人につき、1行にご記載ください。

【その他】

10. 文部科学省やIB教育推進コンソーシアムに期待すること等があれば、ご自由に記載ください。